…市元…六吊百…吊二百
江幡價錢五吊四百文至五吊
糧…共上車三十餘輛
邊…共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙	一連	一圓
一フールスカップ	全	四圓
一中判洋紙	全	二圓
一半紙野紙	百枚	二十錢
一卷紙	四十枚續	十四錢

一椅子	一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥	三十圓以上三十五圓
一卓子	四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛	六圓以上十二圓
一厨房用戸棚	七圓五十錢以上十圓

一[illegible]		四圓以上六圓五十錢
一長火鉢		八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢		二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢	一對	六圓以上九圓

滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

告示

大日本帝國營口監督與　爲
出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以横濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文横濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違
特示
右諭通知
明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話十番 支配人室　電話百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

賣捌並廣告取次所
大連市稜歧町三百三十八號 日華運輸公司
大連市盤城町四十九番地 岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽 遼陽倶樂部 谷口今朝太郎

啓者 本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

三井洋行

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣絨絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綢子洋服鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另亦有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此列以李吉市田彫起等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話 東店五五 西店一三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並滙兌錢鈔兼代客經理買賣租船裝運事宜營口賸東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便匯貯油餅豆米麥更爲合宜彙齊有帆船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及有棧貨物亦肯棧租格外從廉　貴客賜顧請到本號面議是荷
經理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣糧貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各行北客經理有年誠信相孚遞運知之
正經理事 潘玉田　副經理事 金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意棄賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯違）櫻花牌（撫翔）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價値極廉諸君欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪丸三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之築造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需
國本主人啓

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十六番）

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便玆因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部
河岸通（電話五十二番）

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●
新民屯停車場前
●同 支店●

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Eginneer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後二時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
婦女の入院を諾す（取扱主任産婆大道しげ子）
院主 森 孺
醫長 鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

材木 荒物 販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成效茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生
宗旨　造成辨公實業家
學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操
學額　五十名
資格　十五歲以上文理明通者
學費　特免惟寄宿生自備饌費餘皆本校墊辦
入學　陰曆三月初一日
夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晩兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

上海 中井洋行

專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書精各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托重與不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客衆本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
三井物産合名會社 牛莊支店（電話六十六番）

東清鐵道 裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲　運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

電氣諸機械

大販賣
本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部（電一五四番）
主任 朱牟田寅吉

自造 煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組（電話八十六番）

Rates for … advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance, Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office, Newchwang.
Telephone No. 29.
料 一ヶ月以內… 一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

東京電報

●參謀總長の更迭 大山參謀總長愈々退任に決定し兒玉大將其後を襲ぎ臺灣總督には佐久間大將任せらるべく後藤民政長官は留任に內決せり

●皇后陛下御行啓 來る四月三十日青山大觀兵式吉日には皇后陛下も御同列にて御行啓あらせらるやに漏れ聞く

●青木大使の出發期 青木駐米大使には四月六日横濱出帆赴任の途に就くべし

●米國大使來任豫定 駐東京米國大使ライト氏は五月十四日横濱來着の豫定なり

●電車問題の紛糾 電車問題紛糾し市會は市有說を可決せり

●立見中將着京の豫定 立見中將十五日朝東京着の豫定なり

●露國領事館設置 露國は從來の四個所以外に越前敦賀に領事館を置かんと企てあり

●時雨の進水式 川崎造船所にて建造中なりし驅逐艦時雨は進水式を擧げたり

●露國占領中の營口の稅關收入 露國の營口占領中稅關の收入は百六十五萬兩なることを趙爾巽氏より報告し唐紹儀は露國に其拂戾を要求せり

●本野公使の赴任 本野駐露公使の露國々境に臨むや露國政府は特別列車を準備し出迎たり

（以上三月十三日發電）

●國賓の再御入京 英國皇甥コンノート殿下十三日再び御入京あらせられ西園寺首相は殿下を三井俱樂部に御請待申上げたり

●伏見宮南淸御出向 伏見高千穗艦長宮殿下には本邦居留民保護の爲め十二日横濱解纜南淸に向はせらる

●政友會と鐵國案 政友會聯合會にて鐵道國有案滿場一致を以て可決せり

●進步黨の總會開會 進步黨は宅地修正鐵道國有等の諸問題に就き十四日總會を開く

●徵兵令改正可決 衆議院にて徵兵令改正法案を可決せり

●韓國農工銀行 統監府は韓國投資の有望を認め特に農工銀行條令を制定する筈なり

●林大使と外相 林大使歸朝せば外相に任せられんといふ

●英米警察の招聘 上海の英米居留地警察署より日本巡査の招聘を申込めり

●淸の黑龍鐵道許可 淸國政府は黑龍江省より提出せる呼蘭城齊々哈爾愛琿間鐵道敷設を許可せり露國の要求を拒絕する決心と見えたり

●佛英軍艦南昌を去る 佛英軍艦は南昌を去れり

（以上三月十四日發電）

倫敦電報

●西國皇帝陛下の御慶事 西國皇帝陛下とバツテンブルグ內親王殿下との御慶事本日正式に發表せらるへし同時に西國政府は同內親王殿下の御手當金を一年十萬圓と定むる筈なり

●米國大統領の賞讚 大統領ルースベルト氏は電報を以て菲律賓駐屯軍の成功を賀し克く國旗の名譽を維持せしことを賞讚せり

（以上三月十二日發電）

●モロツコ會議の前途 アルジエシラスより出でたる獨佛兩國側の警報に據ればモロツコ會議の前途には猶幾多の困難橫はれりと云ふ

●コーリエル炭坑慘事後報 佛國衆議院はコーリエル炭坑慘事の死傷者に對して五千萬フランを支出すへく可決せり點檢の結果として一千百五十名の死者あることと判明せり發掘せる屍體は僅に九十にして有毒瓦斯と屍體より發する臭氣の爲め事業を中止するに至れり

雜報

●再び過爐銀に就て（公議會の保證）

過爐銀に付て公議會の連中が頗る樂天的觀察を裝ひ居るは昨日の本紙に於て報道せし所なるが支那人側の呑氣なる反對に一方日本人側の意見は日々に强硬にして或は過爐銀の廢止を唱導するに至る無きやも保し難き勢あり之を觀て取りたる公議會は斯ては一大事なりと俄に密議を開き其の相談の結果、公議會が銀爐の保證に立ち決して不都合無からしむるとの名目の下に一時を彌縫する事に衆議一定し早速實業協會の選定に係る日本人側の調査委員中其の主なる人々等を訪問し大要左の意味を以て過爐銀に對する公議會の意見を伸述し以て委員等の熟考を求めたりと云ふ

過爐銀は幾十年來營口に流通し商業取引に於て欠く可らさる絕体必要の貨幣也今即ち之を廢止するは商業上に於て許す可らす而して復た其の危險の者に非る事も過去の歷史の證明する所也改て公議會も亦其危險無き事を保證す可し願くは銀爐か今日の決算延期に對し好意の解釋有之り度し云々

委員等に於て公議會と銀爐との關係を知らされは止む何も之を熟知す何條斯の如き曖昧なる提言に耳を借す可き然れとも亦言下に謝絕するは情に於て忍びす即ち答へて曰く

過爐銀は日本人を以て觀れは頗る危險也日本人の觀て危險とする所は恐く又た西洋人に於ても觀て以て危險とする所ならん斯の如き危險の者を交換の媒介に供するは淸國に觀るも利益に非す然れとも一朝にして之を廢止する如きは万般の事情の許さゞる所たらん吾々と雖も亦た之を知らさる者に非す吾々は一方に於て過爐銀の危險を恐るゝと共に更に一方に於て一朝にして廢するの恐くは復た足下等の益にも非る事を知る者也即ち良法を案出し以て一面に於ては吾々の不安を除き、一面に於ては足下等の迷惑とならさる事に苦心しつゝあり而して其の方法として漸く吾々に於て案出せし者は銀爐條例なり蓋し此の條例は過爐銀を土臺に日本の銀行制度を參酌して加へたる者にして最も穩當なるものとす足下等の贊同を得て本條例の銀爐を拘束するに至らは即ち過爐銀の信用確實となり共に安心するに足ると同時に足下等は再ひ過爐銀廢止の聲を聞て寒心する事非る也即ち滿足すへき良法なりとす今足下等は吾々を訪問し過爐銀に付て云々するも絕て本條例に關して云ふ所なし然して頻に過炉銀の廢止す可らさる事と危險の非る事を主張す、條例の精神か過炉銀を廢止するに非すして寧ろ過炉銀を確實の者にとして其流通を永久に保持せんとするに在るは敢て說明する迄も無き事也其廢正難の如き今吾々に於ては聞くの要なく而して足下等も言ふの要非るへし、吾々の聞かんと欲して而して足下等の云はさる所の者は危險豫防の方法也即ち吾々の提出せし條例の實行に贊成するか將た或は別に足下等に於て方法を講して以て過炉銀の危險を除却する力に在り今まで足下等より見れは或は危險無からんも吾々より見れは危險慥に有之、漠然として唯た即ち喋々するは何の益かあらん若し吾々をして安心せしめんとせは宜しく語るに安心するに足るの道を以てせさる可らす、足下等は更に公議會に於て危險無きを保證す云々と語れり足下等の所謂吾々に供する安心の道は此の保證を指す者乎吁果して然るか然れとも保證必すしも不可ならす唯た口頭の保證は寸益なし足下等に於て過去の危險無かりし歷史に依り心中果して將來も亦た其の危險無きを觀せは而して實際に於ても足下等の想像の如く危險非れは假令如何なる保證に立つも後日に於て迷惑を覺る事は非るへし保證に立つを欲せは更に進んて請ふ確實に保證に立て然らは即ち吾々に於ても更に一考せん云々

彼等は元と一時を彌縫するか爲に保證を云々せし者固より心中保證の覺悟あるに非す故に自ら將來の危險非るを保證すと主張しつゝも日本人側委員の此言に對し誓ふ所あらす更に一考の要ありと稱へ答辨の期日を求め何れも後日を約して退散せりと云ふ實に之れ今より拾余日前の事なりと云ふ知らす其後に於ける彼等の答辨は果して如何なるものぞ請ふ稿を更めて報道せむ

●大連航船の增加 大連の自由航海を許されてより同航路は殆んど大阪商船の獨占の姿なりしが其後日本郵船會社は雇船千珠丸（千六百八十一噸）の橫濱芝罘線を毎航寄港せしむる事とし又大阪商船は引續き同航路を擴張して盛航、基隆、開城、南越の各船を以て毎月五回の定航となし其他神戶谷道支店の賴朝、摩耶山の二隻大原同漕店の鷹取・日勝の二隻も大連直航若しくは寄港を實施し居れば今や同航路は最も便利となれりと當營口が冬季結氷中にも拘らず郵便物の日本內地より殆ど毎日到着し得るに徵するも全く大連航路の便利を加へたるを證するに足らん

●奉天の馬賊橫行 奉天よりの來信に據れば奉天の昨今は鴨綠江軍引上げ以來一般寂寥となり夜間は一層物騷にて毎夜馬賊の橫行甚しく城外に居住する人民は日本人支那人の別なく恐怖の念に驅られて安眠も出來さる位なるに之を支那巡捕に現在馬賊來れりと訴ふれば賊を恐れて追捕する事も敢てせず之を兵丁に告ぐれば我等不知の一點張にて如何とも爲す能はす日本人にてさへ賊難に罹りたるもの數人ありといふ

●天津の初航船入港 當營口は數日來の暖氣に拘らす尙堅氷中に封鎖せらると雖も白河は既に先月末より解氷し始めて全く流氷の消失せるを以て我商船會社の初航船大智丸は既に其航程を起して天津に向ひつゝありしか愈々去る十一日を以て白河を溯航し午後七時半總領事館前の波止場に碇泊せり數月間氷雪中に幽閉せられて埠頭に帆影を留めさりし荒涼の天津も遂に寂寥を破りて活氣頓に加はり滿都の商民蘇生の思ひを爲せるも宜なり昨年は三月二日獨乙船の入港を以て天津の初航と爲せるも本年は我商船の大智丸を以て同港入港船舶の嚆矢と爲せしは亦以て戰後海運發展の一端を見るべし

●鐵嶺行婦人數 鐵嶺か愈々婦人の居住を許可せらるゝ事とならは營口より轉住する婦人も必す多數なるへしとは嘗て記載せし所なるか果して非常に多數にして其許可日たる去る十三日以來軍政署に出頭して其旅行を願ひ出る者日々二十名を下らすと云ふ尙は昨今は寒氣の減退と共に婦人の各地に移住又は旅行する者の數日毎に增加し毎日五六十名に達すと云ふ而して就中最も多數なるは固より以上の鐵嶺行なるか其他は槪ね奉天及ひ撫順を目的とする者也と云ふ

●郵船の北淸航路運賃引下 戰時中は北淸航路は一般に運賃の高値を示したるも今年の航海は戰爭も既に終結し秩序も常態に復したれば郵船會社の北淸航路運賃中芝罘天津牛莊とも戰時に比し雜貨一噸に付約一圓宛を引下ぐる事に決定せりといふ

●高山中佐の來營 營口最初の軍政官及び輿倉中佐の着任以前に於て營口の軍政官を掌り以て其の治安の維持に任したる現安東縣の軍政官高山中佐は久々にて來營し當時を追想して市中を隈なく見物し昨日を以て歸任の途に着けりと云ふ因に高山中佐の營口の軍政を見たるは輿倉中佐の着任三日以前迄にて實に我軍の營口占領と同時に其任に就きたる也當時の營口と今日の營口とは非常の相違也蓋し中佐の胸中必すや大に今昔の感に堪へさりしなるへし

●堀越憲兵長母堂の逝去 堀越憲兵長の母堂は年病みにて久しく病床中に在られたるか藥石遂に其効なく本月九日を以て永逝せられたりとなり享年七十三歳悼むへし因に憲兵長か過日の紀念祝賀會に列席せさりしは之か爲にて母堂逝去の電報到着するや其官舍に於て二日間遠慮せりと云ふ

●鈴木長崎二氏の歸營 鈴木軍醫幷に長崎技師は過日來共に天津方面へ出張中なりしか一昨日を以て兩氏共歸營せしとなり

●岡山孤兒院音樂隊の來營 石井十次氏に依つて經營せらるゝ岡山孤兒院は創立以來十九年の星霜を經收容せられたる孤兒の數二千餘名に上り社會に代つて嚴父慈母の任に當りその成績良好なるは世人の知悉する處なり昨日同院音樂隊十一名來營し領事館軍政署正金銀行三井洋行等を歷訪して本社へも來訪せられ壯快なる二三の音樂を奏せられたり一行は十二三歳より十七八歳の青年なるが目下高等小學三年生徒として勉學中なりと云ふ滿洲倉庫營口支庫阪東一等主計の案內者となり種々盡力せられたり來る六日午後九時アツセンブリハウスに於て慈善音樂會活動寫眞等の催しある筈なれば苟も一片同情の淚あるものは續々參會して親しく可憐なる孤兒を慰せらるべし

●夜警集金に就て 客臘當軍政署の注意により月々各戶若干の金を醵出し市中に夜警を設け以て火災盜難等を豫防すると爲りてより商民安堵其恵に頼れると最も多きに拘らす頑日其集金に出掛くる者に對し種々の口實を設けて出金を拒む傾あるのみならす甚しきは委員等か營利の爲めに之を行ひつゝあるか如くに誤解せる者之れ無きにあらさる由なるも元來同夜警は軍政署の指名によりて委員を設け今も現に軍政署監督の下に夜警を行ひつゝあるものなれは去る誤解の生する譯無けれは各自安心して出金せらるへしとなり

●遼陽日本人會月報 遼陽日本人會にては月報を發行することと爲り去月十六日を以て其第一號を發行せり六頁の小冊子なれとも官廳布達、告知、日本人會記事、會告等の欄を設け有益の記事多し

投書かご

▲去八日御掲載の滿洲側面觀中吾人の決心といふ一項を見て我輩は最も同感に堪へないのである（同感生）▲何の原因によるか知らないか奉天兵站部の前には何時も小盜兒の二三人位つゝ辮髮で以て繋いであるのを見る僕は其前を通行する毎に常に一種の感に打たれるのである（通行生）▲モシ〱永世街の永世湯屋さんアナタの處の湯は一名餓湯とでもいふてせうね何時でも湯かヌラ〱して居るよアレで衛生湯と改名したのはとういふ譯けでせう（江戶兒）▲中等敎育を受け慥かなる證人あり日本人の商店に雇れたし給料多きを望ます御希望の御方は本欄迄（希望生）▲牛莊亭の洋食は安價で調理方もさう不味くは無いか往來から食事をやつて居るのか皆見える先達の晚も支那人が澤山て大きな口を開けてパクつかして居たよ是れ丈けは改良して貰ひたいものだ（引倒生）

東西南北

●獨逸外交官俸給 獨逸外交の發展は近來の一現象なるか獨逸外交官俸給は內國官吏より高きことも各國の無類にして同國首相の年俸は五万圓なるに倫敦及彼得堡駐在の大使は七万五千圓、巴里、維也コンスタンチノーブル駐在の大使は六万圓、羅馬、マドリツド、華盛頓駐在大使は何れも五万圓の年俸を受け又北京、東京、テヘラン等駐在の公使は各三万圓の年俸外に別に居宅料を受くる等以下之に準し瑞西駐在公使の一万六千五百圓を最低とする割合なりと云ふ

●興銀の韓國放資 日本興業銀行にては夙に韓國放資の計畫あり昨夏英國の某商會と七百五十万圓の借款契約を結び爾來調査する所ありしか過般實地視察として添田總裁の渡韓を見たれは遠らす同銀行か現今の資本以外更に一大資本を韓國の興業界に放資するに至るへしといふ

●日本社會黨成立 我か國の社會主義者は從來政黨として存立する事を禁せられ居たるか新內閣に至りて政府の方針一變し此の度『憲法の範圍內に社會主義を主張す』と云ふ趣旨にて改めて政社組織屆を差出し日本社會黨としては存立するに至れり本部は神田三崎町三丁目一番地に設く協議員は加藤時次郎氏外十二名幹事は西川光二郎氏外二名

●新橋驛長に恩賜 新橋驛長高橋善一氏は去る一日午後御召に依り宮內省へ出頭したるに思召を以て御眞影に金三百圓を添へ下賜せられたり勅任官にあらすして御眞影を載きたるは高橋驛長を嚆矢と爲す由

●鳥港要塞の改築 鳥港要塞司令長官カスベク中將はポーツマウスの平和は鳥港を救ひたり若し當時平和成立せされは鳥港は日本の包圍軍に對して旅順より一層不名譽なる降伏を爲すの外なかりしとの理由にて鳥港要塞の改築を建議せりと

●英親王と大西鄉 此程薩州常安の峰なる西南洲其他の墓を弔はれ英親王殿下は墓前にて脫帽敬禮あり千頭知事に向はせられ西鄉は眞の大人物なり是れを內亂に死せしめたるは惜しき事なりとの御詞ありリーズデール卿は特に梅の枝を持ち來りて之を墓前に供へたり

●靖國大祭と特赦 來る五月執行さるへき靖國神社の勅祭を機とし其の筋に於ては既決罪囚に對する特赦を行はんとの議あり過般來調査中なりしか愈々是れか實行を見るへき模樣にて右特赦範圍も成るへく之を擴張し啻に國事犯又は一部の常事犯に止まらす一般罪囚にも及ぼさるゝならんとなり

●電車の五錢均一 三錢均一論の本家たる東京市街鐵道株式會社は同均一制實施以來の成績に徵し到底遣り切れすとて昨年以來五錢均一說を唱へ出し近來に至りて三會社線共通乘車切符の實行を條件として五錢均一共通の義を決し電車外濠兩社と協商を遂け其筋に向つて認可の申請を爲すまでに運ひたりと云ふ右に付三錢均一論の主唱者たる雨宮敬次郎立川勇次郎の兩取締役は會社を瀕死の悲境に陷らしめたる責任として詰腹を切らしめられ辭任を申出つることゝなり

大車 開行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一一、一八	下六、二〇
山海關至天津	[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
北京至塘沽	下二、四〇	下八、三〇

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間　下り列車

驛名	發着	時刻	
大連	發午前	九、〇〇	
金州	着	一一、〇九	發 一一、二九

驛名	發着	時刻	
遼陽	着午後	三、五〇	發 四、五五
大石橋	着	一〇、三二	發 一一、三五
金州	着翌前	二、二〇	發 三、一〇
大連	着	五、三二	

上り列車

旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三二

營口線　下り列車

大石橋	發午前	一、〇〇

天氣

營口地方天氣豫報　自三月昨日午後六時 至三月本日午後六時

小説

新作小説　おとし胤（十二）　徳田秋聲

「だツて、可笑しいわ。此樣な大きな風躰をして………可いから、私、廻ツて來てよ。」
「管うもんか、誰も見てゐねえだもの………まア、孃さん、お待ちなさいツてことさ。」
「然うかね。」
と光は躊躇ツてゐる間に、健三は、手早く擔ツてゐた草刈籠を卸して、ざぶり、片足流へ入れたかと思ふと、五歩六歩で、もう此方の岸へ着いた。そして、
「さ。」
とばかり、光に背を向けた。
「可笑しいわ、ふゝゝゝ。」
と光は、顔を顰めながら、極惡さうに其處らを見廻した。そして兩手を密と健三の肩に掛けた。
健三は、一向無頓着だ。光の兩手が肩に掛ると直に、輕々と背負ツて、さツ〳〵と川を渡ツて、やツてらさと向岸へ卸した。
「何うだ、此の方が手ツ取早くツて可いでねえか。」
「それでも私、誰か見てゐやしないかと思ツて、惱々したわ。」
「何有、見てゐたツて管うもんか。」
「でも笑はれるわ。」
「笑ふ奴があツたら、踏ン踏して呉れる分の事ツた。はゝゝ。」
健三は、年の頃十六七、背は少し低いが、丸々と肥ツて、小氣味の好い少年である、日に燒けて、色こそ黒いけれども、眼は活々として輝き、鼻も尋常、唇に乾ツと締ツて、其處に男らしい勇氣と堅忍不屈の氣性とを示してゐる。着物は草刈相當の腰切の襤褸半纏一枚、腰には一挺の磨鎌を帶してゐた。彼の家は、村一番の貧乏人であるから、家の生活を助ける爲に、朝から晩まで野らへ出て働いてゐるのであるが、夜になると、寛齋の怙に縋ツて、光と一所に讀本または論語中庸などの類の書を教へられてゐるのであツた。それで彼は、讀むことにかけても書くことにかけても、彼等の年輩では村第一番との評判を取ツてゐる。
健三はまた草刈籠を擔ツて、
「然う謂へば孃さんの許さ、東京からお客樣がお出になツたゞね。」
「あゝ。」
「何しにお出たゞね。」
兩人は、肩を駢べて歩き出した。
「何しにツて………」と光は、鳥渡言惱むで、
「譯を話さなければ解らないけれども、其の事でね、私、お前に相談があるんだよ。」
「其の事ツて相談？………東京から來た人の事で相談があるんだツて………へい。」
と健三は、眼を丸くした。
「お前、本氣になツて、私の相談を聞いて呉れて？」
と光は、惡く念を押すと、
「そりや聞くだとも！………俺の出來ることなら何んでも爲るだ。先生には、えらい御恩になツてゐるだから！」
「先生では可けないよ、私の爲だと思ツて爲て呉れなくツちや可けないわ。」
「そりや孃さんの爲だツても可いだ。同樣事だもの。」
「それが同樣でとぢやないのだよ。」
健三はまた、眼を丸くした。
「何故ね？」
「何故ツて、種々な事情があツてね。」と歎息するやうに謂ツて、「まア、事情を話すから聞いてお呉れな。だけども、誰にも謂ツちや可けないよ、私は、お前を信じて話すんだから、もしも此の秘密を誰かに漏らすと、お前は惡人だよ。」
「可いとも！　誰に話すもんか。誓ツて話さない。」
「誓ツてね？」
「むゝ、誓ツた。」
そこで光は、自分の身の生立から、父のこと、母のこと、今まで秘密になツてゐた自分の身分、それから今度の父からの迎の一條、其に對する祖父樣の態度、其の本意、全く殘らず何事も打明けた。そして此う附加へた。
「そいで、ね、健三。私は、何うすれば可いだらう、東京へ行ツた方が可いだらうか、それとも此方にゐた方が………」
と謂ツたまゝ、健三は急に口を開かぬ。そして落着拂ツた躰で、頭を垂れて熟と考込むでゐた。
「然うさな。」
光は、氣遣はしさうに、其の顔を覗き込むで。
「ね、何うすれば可いだらうね、私、眞箇に迷ツて了ツてよ。」
と謂ツてゐながらも、彼女の本心を謂へば、願はくは健三の口から『東京行』に同意して呉れるやうに、思ツてゐたのであツた。そして自分の東京行の決心を固くしやうと望むでゐたのであツた。一口に彼女の心を説明したら、誰でも一人熱心に東京行を贊成して呉れる者があツたら、此の場合彼女は直に安心して東京行に心を決して了ふのであツた。

●話の聽きかき

▲營口の土人中には往々にして今日の軍政に不平を鳴して居る者がある、其理由か面白い、露國の軍政時代には犯罪か有つても、錢さへ出せは直に許して呉れたか、日本の軍政と爲つてからは金て罪を許して貰ふ事か出來ぬ、日本の軍政は如何にも固くるしくて融通か利かぬ、吾々には矢張り露國の政治か難有い、何處迄も目出度く出來てる人民である▲露國の軍政て思ひ出したか其の軍政時代に日本倶樂部て露國の兵士か亂暴を働いた事かあつた丁度川崎大尉も來合して居つて他の日本人と共に協力して其亂暴兵士は忽の間に戸外に押し出して仕舞ツたか戸外に押し出された兵士は殘念の餘り歸りの駄賃に更に其所等邊に在る倶樂部の物品を目當り次第に打つ毀して歸つた▲其所で倶樂部から露國の官憲に對し訴へ出てゝ其兵士の處分を請求した、暫くすると憲兵か出張し現場を觀た迄は好かつたか僣て口を開てからの文句か面白い、斯樣た、是れ丈の亂暴か露國の兵士に依つて出來たとすれは何故に傍觀して居つたか又た何故に其姓名を聞き取りて置か無かつたか、本人も居らす姓名も知れ無いに如何にして處分か下されるか考へて見ろ馬鹿め何方か馬鹿か實に言語同斷、思ひ出して話す事もならぬ▲黒澤副税務司は過日の奉天占領の陸軍紀念日にサモ嬉しそうに滿面に笑を浮へ終日得々として來客に應接をして居つた來客の一人誰れやらか本日はキツウ御滿足の体てありますなあとヤツタラ左樣今日に限つては吾輩は獨りて大に喜はねはならぬ未た諸君の知らない特殊の事情かあるのてと答へて居つた、全体ドンナ事情てあらふか最一ツ君に於て解せられぬのは近頃頻に人に向つて我輩は當節は恰も東京の魚屋の店にブラ下つて居る、鮟鱇の樣な者てある云々の語てある一寸又た解せられぬ

●頭陀袋　維新の七卿とは三條公、三條西伯、澤伯四條伯、錦小路子、壬生伯、東久世伯の七人であつたが先日壬生伯が薨去せられたので今は七卿中生存する者東久世伯のみである▲日露戰役中露兵の我邦に俘虜と爲つた者が將校下士卒共計七萬八千九百二十一人で我同胞の露國に俘虜と爲つた者が一千九百五十八人差引七萬六千九百六十三人といふ多勢が喰潰ぶしに來たのである▲大坂市長の年俸は是迄三千五百圓であつたが此程の市參事會で四千五百圓に增額した併し從前の舍宅料一千圓といふものを全廢したので市長の給料には一錢一厘の損得が無い何の爲めであるか分らぬ▲大阪では近頃不良兒童の犯罪が著しく增加して來たそれは物價騰貴の爲め其父兄が養育に窮するの餘り流離困頓して不良の群に投じ掏摸カツパライ等に化するのであるさうぢや（黒坊主）

春の歌　紫川漁郎

一玉章に封じ來りし梅一輪　祟さかほりを巳かこゝろに
一庭の梅に黄鳥來りて囀づれば　森羅萬象みな春もらす
一水晶の河邊に佇ちて見渡せば　夕陽まはゆふ春風の吹く
一夕陽落ち夜の帳の色薄く　岸邊の柳春かすみこむ
一茜さす日は麗かに河面染む　輕舟一葉春風授けて

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し
追而二月十五日以前に申込みあるも未た架設に至らさるものは重て申込を要す
明治三十九年三月三日
營口軍政署電話局

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より専管居留地へ各事業家之建築も大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應し正實と叮嚀を主とし勉强可仕尚構造法等は多額を要せすして强固なる建築法を研究在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候
建築設計依頼に應ず
營口永世街二本町二百五十八號　工棟組

夜警決算報告

一銀二百六十三圓五十錢　二月分徴收高
内譯
一銀百五十圓　公議會エ苦力費支拂
一仝三十圓　新聞廣告料
一仝二十一圓二十錢　領收書用紙、臨時雇員給料、帳簿料、
差引殘金六十二圓三十錢
右及報告候也
第一派遣所　夜警委員

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

我々共感あり自今禁酒仕候
戸水汪
安齋源一郎

艀船輸出入荷物取扱荷物保管
税關手續
市場北三階樓時計店ノ二階
宮原公司

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口紋定門街
ブツシ商會東
川喜鐵工場

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候
豊濟門街李俊の前
ペンキ塗請負
京阪組

故沖禎介
追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、紙判は美濃紙大
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に
新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則　大清通運公司安田貞藏
同志友人　敬白

鐵嶺　西門外大通
御旅館
福屋
御料理

北京　東單牌樓大街路西
扶桑旅館
客室清潔料理鮮新

御手輕料理
一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一鍋壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候
營口元神廟街二〇九號
月日
翁亭

營口
本店　彌生　電話四一番
支店　彌生　鐵嶺西門外大街
今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候
館主　宮下只七郎
一位置　西門より西の方五六軒北側に在(り)
一構造　室内裝飾等日本式　特別室あ(り)凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放仝時一開業
奉天小西門外ナ杉岡北

會席料理
三日月
營口警務課前南に入る

天津
御旅館
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理

スペシャルライト賣出し

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を醸造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

醸造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

雜貨 醬油 木炭
すし米
清酒 大樽 半樽

營口西北街
阪神組

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

浅田飴（あさだあめ）

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

肺病痰喘氣急傷風捿癬小兒風疹病後精弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 罐詰 色々
洋酒類
右取次販賣

牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

ゼム 財菜口中香藥

ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑
財菜者芳香馥郁而美味可愛靈約也

大日本東京 山崎愛國堂 大藥房處修

大清國發賣處 淺野大藥房
營口永世街(二本町) 各國有名靈藥總發賣處

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司 營口支店

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田雜次郎 (電話百七十八番)

西洋料理仕出し御需に應ず
即席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)

電話開通(一九二)
雜貨綿布商 糸平公司
營口元神廟街憲一六九

飯塚工程局材料部
營口元神廟前 (電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

旅人宿 東館
大連市信濃町卅九號地
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子 白米
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰 卸商
防寒具、安價販賣
營口西北街
豐生洋行
(電話十三番)

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店
其外新荷着精々安價販賣

時刻

唐山至天津 上六、二二 上一一、二八
塘沽至北京 上六、〇〇 下一二、〇六
天津至北京 上一二、〇〇 下五、二〇
山海關至北京 上八、〇〇 下六、四五

天津至山海關 上六、二五 下六、二一
唐山至山海關 上六、〇〇 上一一、五八
山海關至營口 上七、〇五 下四、五五
溝邦子至新民 上三、〇〇 下六、五七

遼陽 發 … 六、二三
奉天 着午後 二、〇六　上り列車
奉天 … 發 七、二〇
鐵嶺 着午前 一一、〇〇

驛名　發着時刻
大連　發午前 七、三〇
旅順　着 一〇、四九

營口上り列車
營口　發午後 十〇、二五
大石橋　着翌前 一二、二〇

豫報

昨日氣温
昨日の氣温
最高温度四十二度一
最低温度六十度七
昨年との比
高十五度一
高十九度六

論說

論中國不宜過分省界

自豆剖瓜分之說。騰播於各國人之口。貫徹於吾國人之耳。鷹瞵虎視之十數强國。如風發潮湧。咸抱高掌遠蹠之政策。橫渡太平洋而東。欣然愛其氣候適、其土地廣。其物産饒。其人民無發達天府富源之才力、無愛國愛種之熱誠。殆天所授東西人以演破壞主義活劇之大舞臺也。各國挾此主義。如貪狼猛虎。四顧搜索。不顧天理。不顧公法。而惟以强權競爭。爲獨一無二之目的。凡我同胞之略具心肝。稍有腦氣者。靡不痛心疾首。思所以應付而接待之。而如火如荼之危機。已幾幾不絕如一綫矣。乃庚子之役。聯軍入京。此時若以其餘力。宰割中原。易易事耳。而東西人士。衆口同聲。以保全領土。開放門戶爲政策。君子謂列强惧瓜分之後。起均勢之衝突。故息而言和。頓變其狠子野心。而爲慈悲佛法。其言蓋未可誣也。而我國家受此大創。亦遂改良其方針。變革其政教。新機發現。憲政萌芽。自朝廷以至百官。自百官以至萬民。皆振刷精神。劃除習慣。二十世紀寰馬拉亞東麓之錦繡河山。五色龍章。巍然獨立。固可爲新中國之前途賀也。雖然。國何以立。無同一之團体。不足以立國也。國何以强。無同一之社會。不可以强國也。夫所謂同一之團体社會者。對於全國而言。非對於一省而言之也。而乃對於全國之人民而言。非對於一省之人民而言之也。而乃盱衡時事、靜驗人心。覺瓜分之說。向倡於外人。而幸未蒙其實禍。今起於國內。而恐陰釀爲厲階也。吾試以事實上徵之。其大概有三焉。

一教育之省界太嚴也。今之主持教育。推廣學務者。罔非求其自强而已。夫自强之道有二。一力强。一智强。虎豹之猛。而扼於人。虎豹不能學問攷論則愚。人能學問攷論則智。是智勝也。至於天人鬼物。草木虫魚。莫不可資學問攷論而益人智。故學貴。美人學會最盛。立國百餘年。而著書立說。多於希臘羅馬之二千年。故兵僅二萬。而萬國莫敢誰何。此以智强也。夫物單則弱。兼則强。至累重什百千萬億兆京垓之。則益强。荀子言物不能群。惟人能群。象馬牛駝不能群。故人得制焉。如使能群。則至微之蝗。群飛蔽天天下畏之。況莫大之象馬牛駝。而使之能群乎。可見一人獨學。不如羣人共學。不如合什百億兆之群共學。學固强。羣乃眞强。累萬億兆皆智人。則强莫與乘矣。中國地合歐洲。民衆倍之。可謂龐大臣魁矣。而猶然見侮於人。蓋散而不群。愚而不學之咎也。今者科擧已廢。學校大興。學之群之。群中外之圖書器藝。群南北之志士通人。凡吾神明之胄。衣冠之倫。保其種。保其教。以免爲象馬牛駝之受人檻縶封割。豈無同心乎。不意近日各省學堂。過分畛域。不獨此省不容他省之學生也。即同一省。而各府廳州縣。且各自爲教。不令稍有攙雜焉。此各籍學堂之所以紛紛設立也。殊不知他省學生。既可就近入此省學堂。則此省學生。亦可就近入他省學堂。果易地以觀。無所區別。則大公之理得。而羣學之益宏矣。吾願吾國人之各需其學。而即群厲其學也。此省界之宜化者一也。

中外要聞

●擬設審教專官　昨政府王大臣會議近因各省教案層見迭出多由地方官未能持平排解遂致激成重案應即奏請每省各派精於交涉三四品官一員專司審理教案並飭隨時稽察可消弭隱患俟議妥即應照會各國公使妥訂條規各宜遵守以免臨時藉口亦不至時重時輕

●奉省擬設政務廳　盛京將軍趙次帥電致政府略云東省將關商埠交涉必繁擬在奉天適中之地設立政務廳專理中外交涉事宜如蒙　俞允務請揀派熟諳外交人員到奉襄辦

●催辦美約　駐美梁大臣電致外部略謂華工禁約之事屢與該政府催議雖巳允准從寬改訂尙無開議之期務請大部速與駐京美公使磋議以期轉達該政府速訂開議庶不至再緩云云

●德請擴充鐵路　日前德國公使至外部探詢中俄條款若干並請聯大臣到使館赴宴茲聞該部人云聯大人赴宴次日到署言係德公使議商山東擴充枝路請外部通知山東巡撫通飭府縣保護示知居民勿生猜忌云云

●河南巡撫電覆陳州教案　河南巡撫電覆外部云陳州地方前有匪徒與教堂爲難實則並未起事當由該處州縣禀報後立即通飭各屬認眞保護嚴拿造謠之匪並派兵前往駐護現已平定希即轉告法使爲盼

●黑龍江將軍力爭礦權　黑龍江程留守昨電外部請將漠河觀音山都魯河幷畢拉河四處金礦務向俄人爭回以保黑龍江全省命脈云云

●掛驗文憑　張香濤宮保當癸卯年間曾在天津招募學生赴鄂入兩湖師範學堂肄業去年十二月簡易科畢業宮保親簽卒業文憑並助貲贈行梓里後生渥邀培植現在各生陸續北上均携帶文憑赴直隷學務處呈遞以便量予位置

●拿獲遊勇　昨聞南營東河汎拿獲游勇盜犯十七名搜出洋鎗十三支解交桑署監收當經曾崇蔭桑將飭東西河汎年力精壯之馬兵楊得福等四十名在桑府晝夜看差恐有不虞並飭官弁起贓俟贓起全解交提督衙門審訊云云

●限制銅元　聞日前財政處奏定限制各省鑄造銅元槪不准私購銅模一節曾見　明諭所有各海關奉　旨後一律不准銅模式入口聞此項銅模已經各省向洋商立有合同在先不易作廢故近來財政處會同外務部並戶部擬辦此擧惟財政處仍行持之甚堅云

●盤査存欵　昨聞戶部堂官奉軍機大臣面諭所有戶庫存儲之欵每年盤査總數奏報此次定章盤査某省解到若干欠解若干分別按省造具詳細清册呈進以備考核云云

●內閣擬辦官報　聞內閣中書各員前擬集股合辦官報仿照商報章程開辦提撥官費以爲提倡現聞集股將有成效巳面禀中堂允諾俟刋刻官報章程畢定期開辦云云

●吏部司員記過　聞吏部監印處例有監印官一員每日在該處監守印信住宿刻値考功司擧辦京察要差例應隨時請印鈐用公件應當月官請印聞日前當月官竟有曠班遺誤要差當經各司値班員外郎代替應差昨聞已奉堂諭將當月官某員記大過一次以示薄懲諭飭嗣後如再有曠班不到等情嚴懲不貸特諭

雜報

●設立官莊　聞盛京將軍趙次帥議奏東省湖蘭地方寬行擬設立官莊之所將前設官莊四十處添設兵丁五十名每名撥地十畝開墾及了種器具以糧並每年應納糧數均照二年之例但添撥兵丁每名給房二間發欵四兩五錢令其自行蓋造無庸撥別處兵丁以備補各庄空缺之數云云

●工部整頓　聞工部堂官諭製造庫總辦瑞齡所有東西兩科飭銀鍰皮秀四作打造金銀銅錫各品物件應飭匠役領催均當照核實分兩打造不准減成減料辦買物料價値發給凡扣之平一併裁改均按照十成發給所有節省之費即行裁革如有行賍受賄等情査出定行重辦

●清査地畝　聞本年京北昌平州州官會同各紳董傳集各村會頭査明村落若干地畝多寡詳細開單當經會頭査清本州之村共三千八百八十三村半（其半村以交界牌分中各半）聞該州飭紳董按村酌量地畝人丁飭每一村認捐銀三十兩應于春秋兩季交捐以備要需云云

●兵役擾害地方　聞蓋州成營有巡長李寶山孫德荃者素行不端目無法紀屢在饅首山二台子村等處擾害百端并有受賄逼婚等事其果確實與否雖不敢必然人言藉藉該統領自當着實査訪以重兵律而靖地方云

●汽車又軋執役　昨聞河北執站人云溝帮子車站有趙某於客冬由山東原籍至該站藉同鄉之力謀得執役四月有餘前日始得掛鈎之差詎應役二日於昨禮拜六日竟如前幾日某役掛鈎車行拽踣被軋身斃一樣葫芦之慘云

●負氣仰藥　東街居民有李子衡者性豪爽常與人排難解忿奈妻妾同室日相齟齬伊無可奈何前日不識又爲何故其妻妾口角繼以詬詛妾周氏負氣竟呑阿芙蓉迨人知覺已灌救不及越時身斃而妾之父母來視幷未出一悪語令備棺衾殯葬而已云

●茶園緝捕三盜　昨聞永發茶園前宵上有三人入座一洋裝二華裝高据官座意氣揚揚詎三人實爲海盜頭目客有知其底細者往衙署暗送消息遂來憲兵帶巡捕等捉拏三犯綁牽衙署未悉鞫供如何云

笑林

●糞夫　西子蒙不潔人皆掩鼻而過之以其穢也羊城某甲在街上行走不提防與糞夫相撞糞水潑在身上一股木犀香直透鼻觀甲大咆哮幾欲用武糞夫曰無論汝行路不帶眼是汝撞我非我撞汝咎由自取就算我故意撥在汝處亦有何妨甲益怒擧手便打糞夫制其肘曰汝如此震怒謂糞水汚汝耳豈知糞水是乃潔淨之物潑在身上何得爲汚甲奇其言霽顏曰汝亦有說乎如能解說我便釋汝糞夫曰近日潔淨局經費全藳抽取　水然其　水非即最潔淨者耶甲首肯一笑釋之

●巡警　粵城自設巡警以來風流歷史可編成集登徒子恆豔羨之有某巡警派守新塡地下班餘暇尋登徒子坐談言次大有歆慕之意某巡警曰別處巡警多帶桃花命我派守此地段則如蛋家鷄見水不得飮惟有終日垂涎耳登徒子詰之某巡警曰近定妓舘章程限制我們不得在妓舘留宿乾柴凭火欲着無從何如派在淺街窄巷者之容易入脚耶人目我輩爲風流部隊實則無風流祇有折墮而已言旣相與太息不置

NEWCHWANG, THURSDAY, MARCH 15, 1906.

A fresh north wind blew all day yesterday. It raised must dust but had lost all its wintry sting. The condition of the ice of the River has become unsafe for pedestrians to cross over except at one or two points some distance above Yingkow Station. Next high tide due on the 25th. inst. will break up the ice at the latest.

The Committee of the Newchwang General Chamber of Commerce will meet at noon next Saturday (the 17th.) at the Newchwang Club to arrange preliminaries for the contemplated general meeting.

It is reported that Mr. H. A. Bush may put off his return till after the port is re-poened

Mr. Chas. Thunder has arrived at the port from Tientsin and taken up his temporary quarters at the "Manchuria House." Mr. Thunder intends to establish himself permanently here as Architect and Surveyor. Building enterprise promises to grow brisk with the return of the trade season. We wish him success and prosperity.

The Juvenile Band of the Okayama Orphanage, consisting of 13 poung inmates ranging in age from 13 to 18, will give a public concert purposely to solicit the patronage of the Newchwang foreign community at the Assembly Rooms to-morrow evening (the 16th.) at 9 p.m. The concert the programme of which comprises (1) Overture, (2) Japanese Music, (3) the Last Rose of Summer, and (4) Japanese Song, will be followed by a select series of Kinematograph exhibitions including (1) Okayama Orphanage, (2) Modern Battle as seen from an Air-ship, (3) the late President McKinley's Funeral, (4) Japanese Gymnastics, (5) King Edward's Visit to Ireland, (6) Naval Fight off Port Arthur, and (7) Admiral Togo's Entry into Tokyo.

Admission tickets will be sold for $3 each at the Assembly Rooms on the same evening, and the proceeds is to go to the maintenance fund of the institution. Mr. Geo. Gleason who is now staying with Mr. McCaslin, and all the leading Japanese residents have taken a keen interest in the charitable enterprise which will be reproduced at the Chinese Theatre on the following 19th. and the 20th. for Japanese and Chinese patrons.

The Orphanage was founded by Superintendent Dr. J. Ishii 19 years ago, and is located at Okayama on the Sanyo Railway line about midway between Osaka and Hiroshima. It has received for care and education during its long successful career over 1,000 poor orphans, of whom more than 500 have left the institution to accept offers of respectable positions. T.I.M.s the Emperor and the Empress graciously bestowed Y. 2,000 in '04, further subscribing for Y. 1,000 a year for the ensuing 10 years. The juvenile band had been engaged in entertaining the withdrawing troops at Tairin since late last January till it departed for this port on the 11th. last, and will start for Tientsin on about the 22nd. inst.

We are informed that Mr. Bellew's principal conditions proposed in response to Sergeant W. H. Adsett's challenge to a pugilistic contest at Newchwang, were sent out on the 24th. ult. in the following terms. (I) Mr. Bellew agrees to fight Sergeant Adsett at 148 lbs. (10 lbs. above Mr. Bellew's weight.) (II.) The winner will take a purse of $1,000 and a side wager of $2,000. (III.) Irrespective of which side wins, 40 per cent of the gate receipts is offered to Sergeant Adsetts; the remaining 60 per cent to be taken by Mr. Bellew who, in consideration of that, will bear all the expenses at this end.

The counter-proposals as reproduced in the issue of our Tientsin contemporary the "China Review" on the 9th. inst. reached Mr. Bellew only last Tuesday and a reply was dispatched on the same day to the effect that, in view of the 10 lbs.'s difference in weight having been raised to 17 lbs., really too risky a disparity to be conceded on Mr. Bellew's part, he will accept the challenge on condition that his intended adversary undertakes to knock him out inside 20 rounds, at the same time offering Sergeant Adsett $350 whether he wins or loses.

The latest Tokyo wires inform us that the Chinese Government has approved of a proposal submitted by the Tartar-General of Hei-lung-kiang for laying a railway connecting Hu-lan, Tsitsihar, nad Ai-hun.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號

旅館　第二營口ホテル　河岸通り

料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主　粕屋忠兵衛

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷　初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十五號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主　片山小みつ（電話一四五番）

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田久二

旅館　大和館　永世街十一號　店主　前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主　和田常松

京東　生蕎麥　一式　東庵　元神廟（電話百五十九）

旅館料理　金城ホテル　永世街百六十六號　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎

料理　醉花園

旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

料理　喜樂亭　營口元神廟街

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館　東雲　主任　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　營口元神廟街

さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

御料理　柳亭　叮嚀專一　豊濟門街二三　店主　玉岡益人

御料理　一力　營口永世街　店主　堀万助

並ニ温泉　每日新湯

和洋料理　松月亭　本店　營口元神廟街一四三号

和洋料理　御旅館　支店　滿洲ホテル　遼陽西街西門二一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　營口ホテル支店　主任　井上源吉

御料理會席　菊水館　主任　朝枝園提

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀨宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

曾席　玉家　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田清

撫順炭大販賣　多少に不拘御用命被仰付度願上候　金城館販賣部

特別室落成　營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居　新來　金城館料理部

奉天小西門外　會席御料理　高等御旅館　金城館

旅館　富喜樓

室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候

鐵嶺城東門外南へ一丁余　南大街　樓主敬白

御旅館　豐陽館　上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主　米田藤吉

料理　滿月　滿月支店　店主

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候

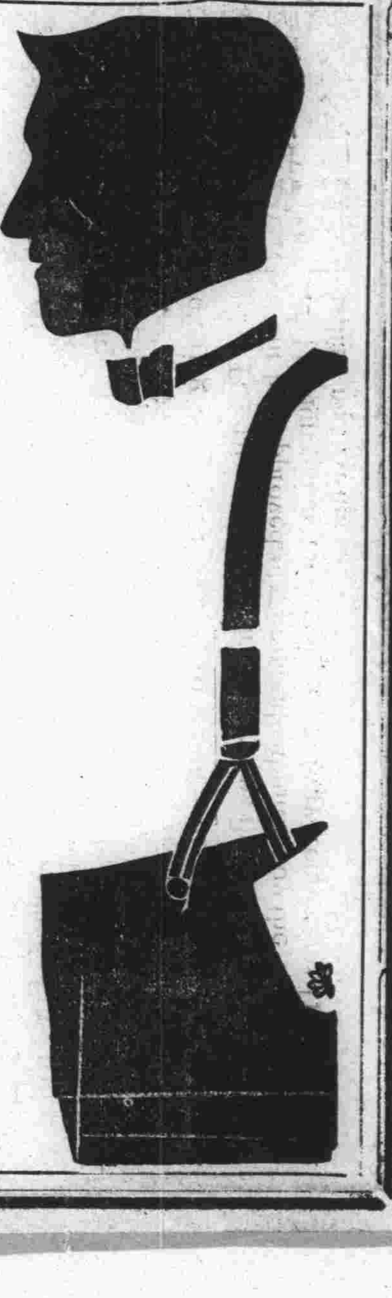
營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店（電話十九番）
各位樣

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ
●活動大寫眞
●日俄戰況幷ニ餘興元錄踊等種々

電話開通　百九十番
大日本大阪谷回春堂大藥房　滿洲總售處
營口永世街警務課司法部前　三木洋行　回天堂大藥房

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也

營口旅館料理屋同業組合



新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形東京市松、はこせこ、鏡入、
貰入、蒔繪貰入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首巻、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髮道具類、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、

營口　加藤洋行（電話八十番）

發賣　料木　標子　木板
淸國營口二本町二五五號
塩川商會
主任　鹽川峯吉（電話一三六番）
遼陽小西門内　鹽川商會

外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
●建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓
○上等日本米　一石に付　銀二十圓
○板材木　○木炭
○亞鉛板　○洋釘
○干擄魚　○石灰

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

喜久洋行　永世街八十號（電話百五十二番）

大連　東洋ホテル
大連鐵道停　場附近民政署前兒玉町

發賣　標子　木板　料木
營口青堆子　清水寧木局

爲替相場（三月十三日）
日本向　九十七圓七十五錢（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩四分ノ一（同）
天津向　一百〇二圓（百弗に付）
芝罘向　天津向ト仝

油豆行情（中曆二月初旬下）

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　仝　七圓五十錢
一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
一塵紙　一〆　一圓七十錢
一仝　二十枚續　三錢二厘以上四錢
一狀袋　百枚　十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具　矢野洋行
一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン　十帖　六圓五十錢以上三十五圓
一暖爐　五圓五十錢以上十四圓
一疊　十枚　二圓六十錢以上三圓
一薄椽　一疊敷　八圓
一麻緞通　仝　三圓
一綿緞通　仝　三圓五十錢
一由加多敷　仝　一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　四仙
一ヶ月前金　八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　九弗六十仙
廣告　二十一字詰一行一回　金二十仙